

大気汚染が引きおこす問題

日本の大気汚染の現状

大気汚染とは、自動車や工場の煙突などから出る汚染物質によって空気が汚れてしまうことです。

日本はかつて、激しい大気汚染とそれに伴う深刻な健康被害を生み出してしまいましたが、国による規制と企業の技術開発などによって大きく改善しました。現在ではほとんどの場所がかつて問題となった汚染物質（二酸化窒素、二酸化硫黄）の濃度は、環境基準より低くなっています。しかし、粒子状物質（SPMやPM2.5）については環境基準を超える場所が多く、対策を進めていく必要があります。

環境基準とは、人の健康や環境を守るために決められた汚染物質の濃度のことじゃ。

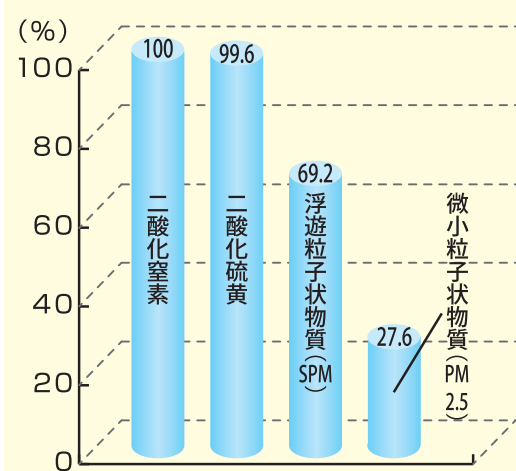


過去の日本の大気汚染の様子（昭和43年 川崎市）



写真：神奈川県環境科学センター

大気汚染物質の環境基準達成率（国内）



資料：環境省

現在行われている大気汚染対策

施設・工場の対策

汚染物質を排出する施設・工場ごとに、法律で排出基準を決めて規制しています。



資料：環境省

自動車の対策

自動車の排ガスに含まれる汚染物質の量を法律で規制し、年々強化しています。また、汚染物質をあまり排出しない自動車を広めるため、購入の際に一定額のお金を補助することや、その自動車にかかる税金を軽くする取組などを行っています。

PM2.5による大気汚染

PM2.5ってなんだろう

PM2.5とは、大気中にある $2.5\mu\text{m}$ 以下の小さな粒子のことです。工場や自動車の排ガスなど多くは人の暮らしから発生します。

平成25年1月に中国で大規模な大気汚染が発生した際に、環境基準を超える濃度のPM2.5が日本でも一時的に観測されました。

※ $1\mu\text{m}$ （マイクロメートル）：1ミリメートルの1000分の1で、髪の毛の太さの30分の1くらいの大きさです。

PM2.5の対策

国内では、工場や自動車からの排ガス規制のほかに、

- 観測体制の強化
- 発生源の排出量などの把握
- PM2.5専用のホームページでの情報提供

などの対策をとっています。

国際的な対策としては、中国への技術協力を進めています。また、平成25年5月に開催された日本、中国、韓国の環境大臣による会議で、3カ国で対策を話し合っていくことになりました。

もっと調べてみよう！

PM2.5 など、大気汚染物質の現在の濃度状況を確認できます。
「そらまめくん」<http://soramame.taiki.go.jp/>

PM2.5による人体への影響

PM2.5はとても小さいため、肺の奥深くまで入りやすく、ぜんそくや気管支炎など健康への影響が心配されています。



資料：EPA

ぼくらの健康にも影響あるのかな…。



PM2.5の測定の様子



写真：環境省